



代表取締役社長
西村 智志

SWOT分析

Strengths 強み

- 塗料技術とセットでの製品開発による、高い顧客ニーズ対応力
- 日中韓の3極R&D体制や産学連携で創出した差別化技術

Weaknesses 弱み

- 地域影響を受けやすい原材料の購入比率が高く、原材料費の安定化に課題

Opportunities 機会

- 自動車をはじめとした各事業領域での環境対応ニーズの高まり
- アジア地域をはじめとした新興国での高機能コーティング需要の増加

Threats 脅威

- 国内市場の縮小
- 原料価格の上昇

市場の見通し

国内の自動車、鉄鋼向けニーズは減少。一般工業用、飲料缶、アルミ製品向けニーズは維持または微増。海外ではアジアを中心に全領域において高成長の見通し

2021-2023年度の戦略骨子

国内シェア拡大による成長維持と海外グループ会社の成長加速によって売上・利益の最大化を図る

日本ペイント・サーフケミカルズ株式会社(NPSU)

自動車や一般工業製品、鉄鋼、飲料缶などに使用される塗装下地皮膜と、親水化処理剤に代表される超薄膜で高機能を付加する機能性コーティングを提供する。日中韓の3極R&D体制や産学連携で創出した技術を、アジアを中心としてグローバルに展開。

2021-2023年度の成長戦略

当社(NPSU)は、ESG課題に対応した新技術による持続的な成長と高収益体質の強化を進め、社会課題の解決と日本ペイントグループへの売上・利益貢献度の最大化を目指します。

マーケットの縮小を見込む国内事業においては、環境負荷・ランニングコスト低減技術による競合との差別化や、新規領域への進出など新しい製品・サービスの投入による持続的な事業成長を狙います。例えば、既存領域では、顧客の製造工程における環境負荷低減要求に応えるため、CO₂排出量・水使用量削減に貢献できる

技術システムの開発・導入や、近年よりニーズが高まっている防錆高品質化に向けて、より高機能な製品の提供を進めることで、市場における当社製品の価値向上を目指します。また、新領域では、防汚コーティングをはじめとした社会インフラ保護の新しいコーティングシステムや、モビリティの電動化に貢献する材料技術の開発・導入などを通じて、新たな事業の柱を育成します。

生産に関しては、これまで培ってきた安全・品質・環境に関する強固な基盤を維持するだけでなく、さらなる人材育成の強化を図ります。その一環として、現場作業能力の見える化と技能向上を目的とした「生産マイスター制度」を導入しました。これにより熟練技術者の技能伝承を促進し、高品質な製品のさらなる安定供給と生産効率化を目指します。また物流の面では、グループ内での輸送システム最適化などを進め、コスト低減を推進していきます。

グローバル事業においては、中国・韓国にある表面処理専門のグループ会社との結び付きを経営から現場レベルでより深め、製品開発、プロモーション、生産性向上に一体となって取り組んでいきます。

開発・プロモーションにおいては、現地顧客特有のニーズを共有し、それぞれの得意技術を持ち寄り融合させることで、顧客提供価値と開発スピードの向上を目指すとともに、原材料調達においてもお互いの情報を共有することで低コスト化を図っていきます。また、各国グループ会社工場に対して、当社が長年培ってきたソフト・ハード面双方のノウハウを波及させることで、グローバルでの生産安全性、効率性および品質向上に貢献していきます。

これらの活動により、中国・韓国をはじめとする日本ペイントグループを通じた世界各地での表面処理市場での売上と利益の拡大を目指していきます。